

『もみじリレーションシップバンキングプラン【平成19年度～21年度】』

平成21年度の進捗状況

平成22年5月31日

もみじ銀行

1. YMFGリレーションシップバンキングの基本方針

2. 取組みにおける「3つの柱」

3. 平成21年度における進捗状況

- ①お取引先支援の一層の強化
- ②お取引先の資金ニーズに応じた営業態勢の整備
- ③地域活性化に向けた多様な金融サービスの提供

4. 地域貢献情報

- (1) 地域・お客様・YMFGが共存共栄していくためのリレーションづくりに全力を尽くしてまいります。
- (2) 地域のお客様に、その取組み・実績について適切な情報開示を行ってまいります。
- (3) グループの取組みとして「3つの柱」を定め、その柱をベースに山口銀行・もみじ銀行において具体的な取組みを行ってまいります。
 - ① お取引先支援の一層の強化
 - ② お取引先の資金ニーズに応じた営業態勢の整備
 - ③ 地域活性化に向けた多様な金融サービスの提供

※上記方針に基づく取組みは、中期経営計画(YMFGファーストプラン)における取組みの一環として実践してまいります。

当行のリレーションシップバンキングプラン(平成19年度～21年度)は、YMFGの基本方針のもと策定・実践してまいりました。

なお、今後3カ年は、新たなYMFGの基本方針のもと策定した「もみじ地域密着型金融推進計画(平成22年度～24年度)」を実践してまいります。

①お取引先支援の一層の強化

創業・新事業支援、経営改善支援、事業再生といった、取引先の成長段階に応じた支援をさらに強化してまいります。

②お取引先の資金ニーズに応じた営業態勢の整備

不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資や、中小企業の資金調達手法の多様化への対応を進めると共に、地域の利用者ニーズに対応するための人材育成に注力してまいります。

③地域活性化に向けた多様な金融サービスの提供

地域再生推進のための産学公連携等を推進します。また、利用者の声を把握し、地域活性化につながる多様なサービス提供につなげてまいります。

①お取引先支援の一層の強化

項目	具体的取組み
創業・新事業支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆(財)ひろしまベンチャー育成基金への協力 財団法人ひろしまベンチャー育成基金への協賛金拠出と助成金交付希望先の募集等の運営に協力しました。 ◆(財)ひろしま産業振興機構との連携 財団法人ひろしま産業振興機構が主催する「ひろしまベンチャー交流サロン」へ参加し、連携を強化しました。 ◆ビジネスマッチングフェアの開催 山口銀行と共同で『エコ』をテーマに、新たなビジネスチャンスの創出やビジネスパートナーとの出会いを目的として、ビジネスマッチングフェアを開催しました。広島、山口、福岡などから環境に配慮した製品やサービス等を提供している企業・大学・支援機関等104社が出展し、約1,000名のご来場をいただきました。当日商談成約件数…4件、継続商談件数…74件（当日アンケート結果より） <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>【創業・新事業支援に資金用途を限定した制度融資商品の実績(平成21年度)】 153件、679百万円</p> </div>

①お取引先支援の一層の強化

項目	具体的取組み
経営改善支援の取組み	<p>◆再生支援先への経営改善支援</p> <p>本部スタッフや外部との連携により、お取引先への経営改善、計画策定等を支援しました。</p>

経営改善支援等の取組み実績【平成21年度】

要 注 意 先	うちその他要注意先	期初債務者数 A	うち経営改善支援取組み先 α			経営改善支援取組み率 $= \alpha / A$	ランクアップ率 $= \beta / \alpha$	再生計画策定率 $= \delta / \alpha$
			α のうち期末に債務者区分がランクアップした先数 β	α のうち再生計画を策定した先数 δ				
	うちその他要注意先	6,330	147	2	20	2.3%	1.4%	13.6%
	うち要管理先	66	4	3	3	6.1%	75.0%	75.0%
	破綻懸念先	784	11	2	3	1.4%	18.2%	27.3%
	実質破綻先	302	2	0	0	0.7%	0.0%	0.0%
	破綻先	111	1	0	0	0.9%	0.0%	0.0%
	合計	7,593	165	7	26	2.2%	4.2%	15.8%

①お取引先支援の一層の強化

項目	具体的取組み
事業再生に向けた積極的取組み	<p>◆外部専門家、再生ストラクチャーの積極的活用 中小企業再生支援協議会の活用、必要に応じて監査法人等との連携により、再生支援先の事業再生に積極的に取組みました。また、迅速かつ抜本的な事業再生を行うために、会社分割、DDS等の再生手法を活用しました。</p> <p>【取組み事例】 お取引先A社(建設業)の再生・・・会社分割スキーム等の活用 ⇒コア事業とノンコア事業に事業を分割し、コア事業については、ノンコア事業の債務を切り離し収益改善を図った。ノンコア事業については、借入金の一部について資本的劣後ローンに切り替え抜本的な再生を図った。</p>
事業承継への取組み	<p>◆M&Aを活用した事業承継への取組み 後継者不在の企業へのM & A活用による事業承継により、企業の存続・雇用の確保に貢献しました。</p> <p>【取組み事例】 お取引先B社のM&A成約 ⇒お取引先B社の従業員の雇用維持ができた。 ⇒買い先企業にとっては、事業規模の拡大が見込まれる。</p>

②お取引先の資金ニーズに応じた営業態勢の整備

項目	具体的取組み
<p>不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進</p>	<p>◆YMベストサポートの取扱開始 担保、第三者保証人を不要とし、スコアリングモデルを利用したスピーディーな融資審査を行う「YMベストサポート」の取扱いを開始しました。</p> <p>◆シンジケートローンの組成 当行を主幹事として、シンジケートローンを2件43億円組成しました。</p> <p>特定非営利法人日本動産鑑定との業務提携 特定非営利法人日本動産鑑定と業務提携し、動産に関する第三者評価の基準を確立しました。日本動産鑑定が動産の客観的な評価・鑑定業務を行うことで、中小企業のお取引先の資金調達手段をより一層広げることを目的としています。</p>

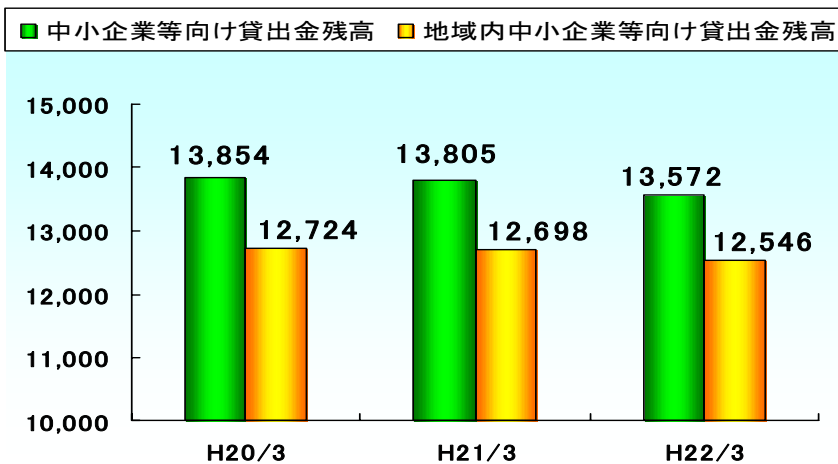
②お取引先の資金ニーズに応じた営業態勢の整備

項目	具体的取組み
<p>中小企業の資金 調達手法の多様化 への対応</p>	<p>◆ファクタリングへの取組み 一括信託型ファクタリングに取扱い金融機関として参加しました。</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【取組み事例】 お取引先C社の信託型ファクタリング導入 契約形態：一括信託型ファクタリング ⇒お取引先C社の手形発行事務の合理化につながりました。</p> </div>
<p>地域の利用者ニ ーズに対応するた めの人材育成</p>	<p>◆人材育成への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様の経営課題の解決に向けた提案力の強化を目的とした行内研修を開催しました。 ・業種による特性や業界動向に精通した人材を育成するために、「業種別目利き研修」を開催し、延べ190名が参加しました。 ・M&A、事業再生など専門性の向上を目的として外部研修へ派遣しました。

③地域活性化に向けた多様な金融サービスの提供

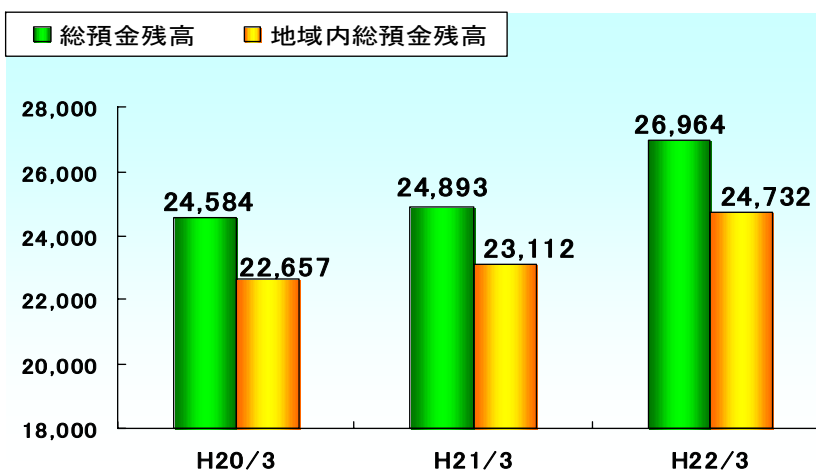
項目	具体的取組み
<p>地域再生推進のための各種施策との連携等</p>	<p>◆広島工業大学との連携 広島工業大学が保有する研究成果や技術情報等と当行の保有する情報等を連携することにより、地域の発展及び人材育成へ寄与することを目的に、学校法人鶴学園広島工業大学と産学連携協定を締結しました。</p> <p>◆ワイエムセゾンによる地域貢献寄付の実施 ショッピングご利用額の一部とカード会員さまのポイント交換による寄付を合算し、以下の地域活性化事業への寄付を行いました。 広島市「新球場整備基金」・・・384千円</p>

中小企業向け貸出



●中小企業等向け貸出には積極的に対応しましたが、景気の悪化等により資金需要が低調に推移したことから、地域内中小企業向け貸出金残高は、1兆2,546億円となりました。

総預金



●「YMGGo! Go! 定期預金」がご好評をいただくなど定期預金を中心として、地域内総預金残高は前年比1,620億円増加し、2兆4,732億円となりました。

※単位: 億円

※地域内の計数は、広島県内の計数。

※中小企業等とは、資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円)以下の会社、または常用する従業員が300人(ただし、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人)以下の会社及び個人。